

手術看護認定看護師

- 手術看護分野は、手術を受ける患者とその家族に対して、手術という侵襲的な治療の影響を最小限にするために、専門的知識や科学的根拠に基づいた看護を実践し、自らの実践を通して教育・指導・相談の役割を遂行することを職務としています

【現在の活動】

- 周術期患者のROM測定
- 手術患者のROM測定結果を活用した安全な手術体位確保と後輩指導
- 手術や麻酔に関連した皮膚損傷予防への対策実施と後輩指導
- 手術患者を対象とした術前オリエンテーション動画の視聴支援
- 食道癌手術患者を対象とした多職種連携による周術期管理チームの運営
- 上記周術期管理チームの一員として食道癌手術患者への禁煙・感冒予防の指導
- 神奈川手術看護認定看護師会主催手術看護セミナーの企画・運営
- 今後の取り組み
 1. 周術期管理チームの活動について、食道癌手術以外の手術への拡大
 2. 手術室の医療材料在庫の適正管理による、医療材料費の削減

メンバー紹介

守屋優一

後輩を指導する際に、根拠に基づいた専門的な技術や知識を教える重要性に気がつきました。そこで、より専門的な知識や技術を身につけたいと考え、認定看護師を目指しました
周術期看護における多職種連携やその強化について検討し、患者がより安全に手術を受けられるように支援していきたいと考えています

井川拓

日々の業務に従事するなかで、手術室看護師として自分たちの実践している看護を究め、手術室全体で更なる専門性の確立を図りたいと考え、認定看護師を目指しました。手術決定から退院までを周術期と捉え、治療早期での手術看護介入(実践・指導・相談)を実現し、患者の安全・安楽向上に努めたいと考えています